



令和6年11月26日

備前長船刀剣博物館	
担当者	主査（学芸員） 杉原賢治
電話番号	0869-66-7767（直通）

## テーマ展「進化する刀剣 –1700年の歴史–」を 開催します

平素は、備前長船刀剣博物館に格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、備前長船刀剣博物館では、令和6年11月30日からテーマ展「進化する刀剣 –1700年の歴史–」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

開催情報については、当館ホームページ (<https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token>)にて随時発信してまいりますのでご確認ください。

### 記

- 1 展示会名 テーマ展「進化する刀剣 –1700年の歴史–」
- 2 開催期間 令和6年11月30日（土）～令和7年2月11日（火・祝）  
※休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）、  
令和6年12月28日（土）～令和7年1月6日（月）
- 3 開催場所 備前長船刀剣博物館（瀬戸内市長船町長船966）
- 4 展示内容 刀剣の歴史は、古く縄文時代末期から弥生時代にかけて剣や鉾といった刀剣類が登場しました。次の古墳時代には、現在みられるような鐔を付属する大刀へと変遷し、刀剣の祖型が登場してきます。  
その後、平安時代初期には直刀や剣などが主流となり、平安時代中末期には湾刀（所謂日本刀：現在みられる刀剣）へと移り変わります。  
湾刀へと形が変わった後に作られた刀剣は、刀身こそは大きく姿が変わりませんが、製作工程や材料の変化により製作された時代ごとに、古刀・新刀・新々刀・近代刀・現代刀と呼び方が変わります。  
本展では、刀剣の姿にスポットを当て弥生時代から現代に至る刀剣の変遷を紹介します。
- 5 その他 取材の際は、事前に備前長船刀剣博物館までご連絡ください。

# テーマ展「進化する刀剣 -1700年の歴史-」開催要項

- 1 展覧会名 「進化する刀剣 -1700年の歴史-」
- 2 主催 瀬戸内市、備前長船刀剣博物館
- 3 開催場所 備前長船刀剣博物館 2階展示室（岡山県瀬戸内市長船町長船966）
- 4 開催期間 令和6年11月30日（土）～ 令和7年2月11日（火・祝）  
※休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）、12月28日～1月6日
- 5 入館料 一般500（400）円、高大生300（250）円、中学生以下無料  
※（ ）は65歳以上もしくは20名以上の団体料金  
※障がい者手帳等の持参者及び付き添い1名まで無料
- 6 趣 旨 

刀剣の歴史は、古く縄文時代末期から弥生時代にかけて剣や鉾といった刀剣類が登場しました。次の古墳時代には、現在みられるような鐔を付属する大刀へと変遷し、刀剣の祖型が登場してきます。その後、平安時代初期には直刀や剣などが主流となり、平安時代中末期には湾刀（所謂日本刀：現在みられる刀剣）へと移り変わります。湾刀へと形が変わる前の刀剣は、材質や形が他の時代と比べ大きく異なることから上古刀と呼びます。

また、湾刀へと形が変わった後に作られた刀剣は、刀身こそは大きく姿が変わりませんが、製作工程や材料の変化により製作された時代ごとに、古刀・新刀・新々刀・近代刀・現代刀と呼び方が変わります。

本展では、刀剣の姿にスポットを当て、変わる部分と変わらない部分の対比としつつ弥生時代から現代に至る刀剣の変遷を紹介します。
- 7 展示内容 古墳から出土した刀剣や上古刀から現代刀までの20点程度展示予定。

（上古刀）	環頭太刀		山陽郷土資料館蔵
（上古刀）	環頭太刀		山陽郷土資料館蔵
（上古刀）	直刀（無銘）		個人蔵
（上古刀）	直刀（無銘）		個人蔵
（古刀）	脇指	銘 備州長船康光／応永十八年十月日	備前長船刀剣博物館蔵
（新々刀）	刀	銘 備前長船住横山俊左衛門藤原祐包 天王原八幡宮於神前作之／ 慶應二年八月日 友成五十八代孫	備前長船刀剣博物館蔵
- 8 問合せ先 備前長船刀剣博物館 主査（学芸員） 杉原賢治  
電 話：0869-66-7767 FAX：0869-66-7971